

式 辞

色鮮やかな花々に包まれ、春の香りが満ちあふれる、良い季節となりました。今日は永島英夫教育委員様、田原隆雄市長様を始め、多数の御来賓の方々にお越しいただき、平成三十一年度入学式を挙行できますこととに、心から感謝申し上げます。

三十名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんは、いろいろな不安や期待を持って今日を迎えたことだと思います。

今日は、皆さんが、素晴らしい伊里中学校の生徒となるために三つのことをお話しします。

一つめは、「目標を持つこと」です。先日引退したイチロウ選手が引退会見で「自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つければ、自分の目の前に立ちはだかる壁に向かっていくことができる。」と、言っています。周りの誘惑に負けず、努力を続けることのできる中学生になってください。

二つめは、「人を大事にする」とことです。校門の横に掲げている、「絆・仲間・愛」という横断幕を見てくれたでしょうか。これは生徒会執行部が作ってくれました。人を大切に
する人は、他人に大切にされる人です。人を大切にすれば、そこには絆

が生まれ本当の仲間ができます。

そして、思いやりの気持ちや感謝の気持ち、すなわち愛が生まれると思うからです。

三つめは、「地域や学校に貢献できる人になること」です。学校には、たくさんの方々が来られてみんなのために様々なことを手伝ってくださいます。そんな方々に感謝する気持ちを持ち、自分たちも地域の活動に積極的に参加できる人になってください。また、学校は、みんなが作るものです。誰かがやってくれるのではなく、自分たちの手で作っていくものです。ですから、大きな声であいさつできたり、自信を持って校歌が歌えたりできる人、そして学級活動や生徒会活動、ボランティア活動に積極的に参加できる人になって

ください。

この三つのことを実践していけば、中学校三年間はきつと充実し、楽しいものとなるはずです。

先日発表された新元号「令和」に込められた「人々が心を寄せ合い文化を生まれ育てる」という思いのように、一年生三十名を含めた百四名の伊里中学校全校生徒の心を合わせ素晴らしい伊里中学校を作っていきたいと思います。

さて保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。中学生の時期は、心身ともに大きく成長し、自我が芽生え、親離れをし、子供から大人に向けてのステップアップをする時期です。そのなかで子供たちは、様々なことを自分たちの力で解決したり、挑戦する力をつけ

ていくことになりました。こういった
中学生生活を支えていくためには、保
護者の皆様と地域、学校との連携が
大切になってきます。どうか、学校
に任せることは任せ、しつかりとお
子様や学校を見守っていただけると
ありがたいと思います。

これから三年間、宜しくお願いい
たします。

最後になりましたが、来賓の皆様
方を始め地域の皆様方、伊里の子供
たちのために、学校職員一体となっ
て頑張ってきてまいります。今年度も子
供たちへの温かい声掛け、学校園へ
の御支援、御協力を、どうぞ宜しく
お願いいたします。

平成三十一年四月十日

備前市立伊里中学校長

松田典久